

授 業 科 目	装具学Ⅲ（下肢装具・側弯症用装具）		
教 育 内 容	専門分野	基礎義肢装具学	
担 当 教 員	中村喜彦、星野元訓、大谷巧		
学 年	2	単 位 数	2
開 講 時 期	前期（木曜日 1 限） 後期（月曜日 1 限）	時 間 数	講義 60 時間

#### ■ 授業概要

本科目は、「下肢装具」「側弯症用装具」の2プロジェクトより構成される。

##### <下肢装具>

対象疾患と装具に求められる機能・使用目的を理解し、同時に立位・歩行における装具の効果について講義を行う。

##### <側弯症用装具>

側弯症の病態、装具の種類と特徴、基本構造について講義を行う。

#### ■ 到達目標

##### <下肢装具>

1) 各疾患のバイオメカニクスや特徴的な立位・歩行・身体的アライメントを理解し、装具の使用目的と効果を説明できる

##### <側弯症用装具>

1) 側弯症の疾患上の特徴、および側弯用装具による装具療法の理論を説明できる。

#### ■ 授業内容

第 1 回	歩行における継手の効果
第 2 回	プラスチック短下肢装具用足継手の機能
第 3 回	長下肢装具の適応と機能
第 4 回	装具膝継手の種類と特徴
第 5-11 回	疾患セミナー1-7
第 12 回	UCBL Shoe Insert の理論、外反扁平足と装具
第 13 回	PTB 免荷装具の理論
第 14 回	坐骨支持免荷装具の理論
第 15-27 回	各疾患と装具について（全 13 回） 脳卒中・脳性麻痺・二分脊椎・脊髄損傷・変形性関節症・捻挫・先天性内反足・発育性股関節形成不全・ペルテス病・筋ジストロフィー・靭帯損傷・正常歩行 1,2
第 28-30 回	側弯症と装具

#### ■ 評価方法

2つのプロジェクトの総合評価とし、配分は次の通りとする。

下肢装具 85%、側弯症用装具 15%

なお、各プロジェクトにおいて60%以上の達成を必要とする。

各プロジェクトにおける評価配分は次の通りとする。

<下肢装具>

疾患セミナー 20%、中間テスト 40%、期末テスト 40%

<側弯症用装具>

小テスト（講義内容） 20%、期末テスト（講義内容） 80%

■ 教科書

装具学 第4版, 医歯薬出版

義肢装具のチェックポイント 第9版, 医学書院

新編 装具治療マニュアル, 医歯薬出版

■ 留意事項

<下肢装具>

疾患セミナーでは課題を学生1人につき一題ずつ与える。

<担当教員の実務経験>

星野元訓：本学院義肢装具学科の専任教員として 24 年間勤務。

中村喜彦：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 5 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 17 年間勤務。

大谷巧：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 15 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 1 年間勤務。